

【受賞】第60回日本サインデザイン賞

～日本サインデザイン特別賞・公益財団法人日本デザイン振興会賞～

SDA AWARD

第60回 日本サインデザイン特別賞 公益財団法人日本デザイン振興会賞

「防災デザイン研究会」の30年にわたる活動に対して

<https://sda-award.org/>

このたび、防災デザイン研究会の30年にわたる活動に対し、
第60回日本サインデザイン特別賞・公益財団法人日本デザイン振興会賞を賜りました。



私たちの活動は、阪神・淡路大震災の翌年、1996年に防災研究者とデザイナーが協働し、防災情報をいかに可視化し、人々の適切な判断と行動につなげることができるかを問い直すことから始まりました。その後、文化人類学、工学、情報通信、環境、行政、教育など、多様な専門領域との協働を重ねながら、防災におけるデザインの役割と可能性を探究してきました。

災害への対応には、科学的に正確な情報だけでなく、それを一人ひとりが理解し、自らの状況に即して判断し、行動へと結びつけるためのコミュニケーションが不可欠です。私たちは、ピクトグラムや避難サイン、ハザードマップ、防災教育、避難訓練、被災者の生活再建支援まで、情報と人、人と地域社会をつなぐより広い意味でのデザインを実践してきました。

今回の受賞は、こうした分野を越えた30年の研究と実践の積み重ねを評価いただいたものと受け止めています。活動をともにしてくださった多くの皆様に深く感謝するとともに、30年にわたり築いてきた防災デザインの知見と実践をさらに未来へつなぎ、これからも「ひとづくり」「まちづくり」を支え、災害にしなやかに向き合う社会のための防災デザインを探究してまいります。